

## 城之内 克也(じょうのうち かつや)

「[遊 戯 王](#)」の主要な登場人物の一人。  
元々は不良だったが、[遊戯\(表\)](#)が[千年パズル](#)を完成させたのをきっかけに親友となる。

どんな場面でも引きたいカードを引ける[遊戯](#)を凌ぐほどの物凄いギャンブル運の持ち主でもある。  
また、メンタル面でも優れており、常人では廃人になりかねない[ラーの翼神竜](#)の攻撃を喰らっても、  
なおデュエルを続けようとし、対戦相手の闇マリクを恐怖させた。惜しくも敗れ、命にかかわる重体を負ったものの、  
その戦いぶりは[海馬](#)にすら「デュエリストとして認めてやる。」とまで言わしめる素晴らしいものだった  
(実際、モンスターを召喚する所までは成功しており、その攻撃が決まっていれば確実に城之内の勝利であった)。  
「[デュエルモンスターズ](#)」の続編にあたる「GX」においては、[海馬](#)や遊戯と並び  
「世界で五指に入る決闘者」とまで称されており、彼の成長ぶりがうかがえる。

ニコニコRPGでは9話で名前のみ登場。

直接対決で敗れたからか、[海馬](#)とは非常に折り合いが悪い。  
というより、海馬の方が城之内を一方的に見下している節があり、  
彼のことを「負け犬」「馬の骨」「雑魚」「凡骨」等、罵倒の限りを尽くしている。  
中でも「凡骨」は[バトルシティ](#)編以降の彼の呼び名として定着。  
ファンの間では彼の通称にまでなった。

ちなみに、アニメ・OCGでは「凡骨の意地」という名前の永続魔法カードが存在する。  
これは、ドローしたカードが通常モンスターカード(特殊能力を持たないモンスター)である限り、  
それを相手に見せる事で何枚でもドローできるという効果を持つ。  
このカードは、アニメオリジナルの「KCグランプリ編」でも登場しており、  
イラストが[ラーの翼神竜](#)の攻撃に耐える城之内に見えなくもないことから、  
[海馬](#)が制作に関わった可能性も考えられる。

ちなみに『城之内ファイヤー』とは、闇マリク戦で自分のフィールドに召喚された、  
「溶岩魔人ラヴァ・ゴーレム」で攻撃した時、本来の必殺技『ゴーレム・ボルケーノ』を  
改名し叫んだもの。あまりのセンスの無さに観戦していた遊戯達にも呆れられていた。  
また、外伝「遊 戯 王R」においても、キース・ハワード戦で  
相手の手札を奪って召喚した「デモニック・モーター・ 」で攻撃する際、  
またも『城之内クラッシャー』と勝手に命名している。(こちらの本来の技名は不明)

## 関連項目

- [真紅眼の黒竜](#)
- [ベビードラゴン](#)
- [悪魔のサイコロ](#)

## 関連動画

|